平成 24 年度 シラバス	学年・期間・区分	5 年次 ・ 通年 ・ A 群	
	対象学科・専攻	機械, 電気電子, 電子制御, 情報, 都市環境デザイン工学科	
英 語 A (English A)	担当教員	坂元 真理子 (Sakamoto, Mariko)	
	教員室	図書棟 2 階 (TEL : 42-9067)	
	E-Mail	sakamoto@kagoshima-ct.ac.jp	
教育形態/単位の種別/単位数	講義 / 学修単位 [講義 I] / 2 単位		
週あたりの学習時間と回数	[授業 (100 分) + 自学自習 (80 分)] × 30 回		
[本科目の目標] 身近な事や社会で起こっている事柄について英語の文章を読み、それについて自分の考えを英語で表現する。			
[本科目の位置付け] これまでに習得した英語の技能の中でも特に「読む、書く」技能を駆使し、課題の内容について考えをまとめ、「話す」訓練を行なう。			
[学習上の留意点] 毎回自分の意見を表現する活動が入るため、物事について考えることが嫌いな学生の受講は勧めない。毎回スピーキングテストを行うので、「話す」活動が苦手な学生の受講は勧めない。必要に応じて英和・和英辞書を持参すること。なお、本科目は学修単位 [講義 I] 科目であるため、指示内容について 80 分程度の自学自習 (予習・復習) が必要である。			
[授業の内容]			
授 業 項 目	時限数	授業項目に対する達成目標	予習の内容
1. 読む	5	□ 授業項目 1~4 について適切に実践することができる。 □ 読んだ内容について、与えられた課題の中で授業項目 1~5 の技能を使った活動を行うことができる。 □ 演習の中で、授業項目 1~5 で学んだ内容を実践し、英語コミュニケーション能力の一部として身につけることができる。	当該の章の英文をあらかじめ読み、概要を把握しておくこと。
2. 書く	5		
3. 話す	5		
4. 聞く	5		
5. 身近な事や社会で起こっている事柄について考える	4		
6. 5 の内容を英語で発表する	4		
--- 前期期末試験 ---		授業項目 1~6 について達成度を評価する。	
試験答案の返却・解説	2	試験答案の解説を行なうことで、誤った部分を理解し学習活動について振り返ることができる。	
1. 読む	5	□ 授業項目 1~4 について適切に実践することができる。 □ 読んだ内容について、与えられた課題の中で授業項目 1~5 の技能を使った活動を行うことができる。 □ 演習の中で、授業項目 1~5 で学んだ内容を実践し、英語コミュニケーション能力の一部として身につけることができる。	当該の章の英文をあらかじめ読み、概要を把握しておくこと。
2. 書く	5		
3. 話す	5		
4. 聞く	5		
5. 身近な事や社会で起こっている事柄について考える	4		
6. 5 の内容を英語で発表する	4		
--- 後期期末試験 ---		授業項目 1~6 について達成度を評価する。	
試験答案の返却・解説	2	試験答案の解説を行なうことで、誤った部分を理解し学習活動について振り返ることができる。	
[教科書] 「リーディング エキスパート」 宍戸 真 他 成美堂			
[参考書・補助教材] 英和・和英辞典 (既に購入しているもので可)			
[成績評価の基準] 定期試験 (50%) + レポート (50%) - 授業態度 (上限 10%)			
[本科 (準学士課程) の学習教育目標との関連] 2-b, 4-b			
[教育プログラムの学習・教育目標との関連] 2-3, 4-3			
[JABEE との関連] (a), (f)			

Memo